

資料 3

平成 30 年 3 月 23 日（金）

第 3 回佐倉市子育て支援推進委員会

子育て支援推進委員会委員 意見聴取状況

○現状のとおり、指定管理者による運営で良いと思う。引き続き、人材確保と育成に努めていただきたい。

○平成26年からの短期間で、よくここまで軌道に乗せることが出来たと評価する。アンケートには少しの不評価も見られるが、今後のきめ細かい行政指導、マンパワーの資質向上を図るなどを行っていけば、改善されていくと思われることから、現行のままの指定管理者による運営で良いと考える。

○アンケート中の「特色ある事業について」において、9割近くの方が良い効果があると回答されていることから、事業者が特色ある活動を展開していることが伺える。意見欄から、お弁当、学習・イベントに格差があるように感じるため、すべての学童保育所の情報交換の場を通じて、質の向上に努めていただきたい。

○「民間導入による自由な経営が可能となり、事業者の独自性の発揮により市民サービスの向上につながっている」というメリットとともに、「契約更新の際に、事業者が変更となった場合、同一のサービスが受けられなくなる恐れがある」「指定管理者以外の民間施設が不利な立場に立たされる恐れがある」等というデメリットもあることから、十分な研究が必要である。

○市として指定管理者による運営の継続を考えているとのことなので、委員会等で出された意見に対する具体的な改善策をもって、現在よりも保護者が安心して預けられる環境を整えていけば良い。
改善した点の検証も必要であり市が取り組んだ具体策が、委員や保護者によくわかる説明が必要。

○アンケートの集計結果から、全体的に問題ないことが分かったことから、指定管理者による運営に賛成する。今後も利用者の意見を聞きながら、進めていっていただきたい。

○時間延長、おやつの問題等できるだけ利用者のニーズに応えられる柔軟な態勢が維持できるよう、市としても財政面、システムの再構築を日々真摯に取り組んでいただきたい。

○企業の強みや特色など民間の活力を十分に活用することにより、楽しく安全で安心できる居場所を子どもたちに提供できていると考え、引き続き、指定管理者による運営を望む。

○児童館や学童保育所のように児童を預かる施設では、ベテランの育成や児童との信頼関係を築いていく必要があるので、短期間に指定管理者制度が崩れてしまうことは良いことではないと感じる。

○「学童利用者アンケート集計結果」から、指定管理が運営することについて、明確に反対している方の割合が1.3%と極めて少ないことから、ほとんどの利用者が今後も指定管理者による運営を望んでいると考える。